

商船三井・中間、コンテナ船部門172億円改善

Edited By LogisticsToday On 2017/10/31

商船三井が10月31日に発表した9月中間決算は、売上高8189億円（前年同期比14.8%増）、営業利益111億円（前年同期は20億円の損失）、経常利益173億円（3.1倍増）、最終利益131億円（18.3%減）となった。

コンテナ船部門は売上が27.9%増の3742億円と取扱量を大幅に伸ばしたが、損益は41億円の損失と、172億円の改善を果たしたものの、赤字を脱するには至らなかった。ドライバルク船と自動車・フェリー・内航RORO船事業はともに利益を25億円増やした。

通期は売上高1兆6150億円、営業利益200億円、経常利益250億円、最終利益120億円を見込む。

■2018年3月期第2四半期

	累計（百万円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	818,901	14.6%	
営業利益	11,146	-	1.4%
経常利益	17,347	215.5%	2.1%
当期利益	13,123	-18.3%	1.6%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/303057>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.